

004

フランスの文化発見! 「音楽で旅する南仏の風景」

セヴラックとめぐる、フランス地方の魅力～自然、文化、美食…etc.

講座内容

近代フランスの作曲家セヴラック(1872-1921)の生涯を追いながら、南仏の自然や人々の暮らし、歴史、言語など、豊かな文化背景を紐解きます。南仏サン・フェリックスロラゲに生まれパリで10年余り学んだセヴラックは、ドビュッシー、ラヴェル、アルベニス、ルドン、ピカソ・・・といった様々な芸術家たちと親交を深めました。“多国籍文化が花開いた都パリ”で、地方の伝統を作品に反映させ、独自の音楽世界を築きました。旅や美食の話も交えながら、映像や音楽とともにゆったりと楽しくフランス文化を学ぶひとときを過ごしませんか? 特別な知識がなくても安心してご参加いただけます。フランス大好きな方、音楽愛好家、ピアノ学習者の皆様、ぜひ一緒に!

期 間	9月27日～12月6日	受講料	13,500円
曜 日	土曜日	定 員	20名 ※最少催行人数 8名
時 間	13:30～14:50	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全5回	持ち物	筆記用具
教 材	教材は拙著『追憶の変奏曲セヴラック』(春秋社)の内容から講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は9月19日(金)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	9月27日(土)	セヴラックってどんな人?! 南仏文化を反映させた独自の作風―「思い出」の音楽と地域主義、フランス音楽の多様性―多言語国家フランス(19世紀の地方語分布)、絵画に見る気候や景観の違い、音楽になった南仏の風景 ♪《ラングドック地方にて》◇肥沃な大地とミシュラン一つ星レストラン
2	10月11日(土)	音楽の中の人の気配～お祭り好きのセヴラック～ 故郷への愛―生い立ちと教育、音楽の中にある郷土を表わすパーツ…鐘の音、カトリックの宗教行事、民謡「牛飼いの歌」が語る南仏の歴史(アルビジョワの大虐殺と南仏の小さな村、サン=フェリックス=ロラゲ) ♪《大地の歌》◇トゥールーズ名物“カスレ”
3	10月25日(土)	パリのセヴラック① 音楽院で受けた教育―パリ音楽院 V.S. パリ・スコラ・カントルム、近代の響きを求めて―聖歌、古楽、南北の地域主義者たち、スペイン・南米からの音楽家たちとの交流 ♪パレストリーナ、ドビュッシー、サティ、セヴラックの作品から ◇ソレーム修道院の美味しいワイン
4	11月 8日(土)	パリのセヴラック② さまざまな芸術家たちとの交友関係―ドビュッシー、ラヴェル、フォーレ、アルベニス、ルドン、ピカソ、F.ミストラル、フランシス・ジャム… ♪お楽しみ ◇音楽家は名料理人、美食家ぞろい! セヴラック家の食卓
5	12月 6日(土)	カタルーニャのセヴラック フランス最南端の町セレへの移住、ピカソやキュビズムの画家たちとの交流、伝統舞踊サルダーナとその音楽を生かした創作、地中海のかなたへの眼差し(ラテン人としての自覚)、第1次世界大戦 ♪《セルダーナ》◇ピレネー山中の珍肉料理

講師紹介



深尾 由美子(ふかお ゆみこ)

ピアニスト・音楽学者

桐朋学園大学大学院博士後期課程修了。同大学ピアノ科卒業後、イタリア、ウィーン、ドイツでソロ・室内楽の研鑽を積み、フランス国立リヨン地方音楽院修了。留学中は多くのコンサートに出演し、人との交流も広げる。母校に戻り、学位論文「セヴラックの創作思想と作品」で博士(音楽)の学位を取得。その成果をもとに2025年1月春秋社より、『セヴラック 追憶の変奏曲』(創作思想と全ピアノ作品解説)を刊行。セヴラック全ピアノ作品をナクソス、Spotify、アップルミュージックから配信。
ドビュッシーが「良い香りのする音楽」とたたえたセヴラックの作品には、南仏の明るさと豊かな文化が息づいています。是非一緒に迎ってまいりましょう!